

令和2年度老健事業 認知症地域支援推進員活動 報告会Q&A (令和3年3月12日)
 報告テーマ：「プランター農園」でつながる ～『食べる』から『食べてもらう』活動へ～
 報告：大阪市東淀川区 地域包括支援センター 認知症地域支援推進員 泉谷 賀津彦氏 山中 法子氏

No	質問	回答
1	初期集中支援チームの年間件数はどのくらいあるのでしょうか？またプランター農園につながった方は何件くらいあるのでしょうか？	チームの訪問支援は、年間約70件（モデル事業を含めた過去7年間の平均）で、うち活動につながった方は12名です。ご本人の園芸活動への興味の有無や活動場所への物理的な距離等、お誘いできる方はある程度限定されるのが現状です。
2	初期集中支援チームの構成メンバーは？	チーム員医師として認知症サポート医1名、チーム員として医療職1名、福祉職3名です（R3.3現在）
3	プランター農園の参加者は現地までどのように来るのでしょうか？送迎有？	現在のメンバーはほとんどがおひとりで徒歩もしくは自転車で来られます。送迎が必要な方がおられた場合は、ボランティアコーディネーターと連携し担い手を探したり、過去にはガイドヘルパーを利用されていた方もおられます。
4	月一回の活動となっていますが、その間の水やりや草引きの管理はどなたがなされていますか？	現状、水遣りについては、調子がよいときにはほぼ毎日通ってくれているメンバー（当事者）がおり、お任せしつつ、職員でフォローしています。間引きは月に1回の活動日までとっておきます。
5	プランター農園、畑を借りる費用や立地にとらわれずいいですね。プランターはどこで管理していますか？また、普段の水あげは誰が行っていますか？	プランターは、活動場所である区社会福祉協議会のベランダに置いています。水遣りについては、前述のとおりです。
6	都市ならではの工夫ですね。社協が活動を提供し、興味がある方が参加されている活動だと思いますが、新たな活動が出たら、皆さんで検討されているのでしょうか。	プランター農園の活動について、ということ言えば、内容は都度フレキシブルに対応しています。それ以外の「認知症支援に係る新たな取り組み」という意味でしたら、まだこの活動以外には取り組めていません。
7	活動時の移動はどうしていますか	前述（3）のとおりです。
8	送迎に関して保険等はどのようになっていますか？	法人として「行事参加者傷害保険」に加入しています。また、ボランティアグループとして、ボランティア保険に加入しておられます。
9	とても参考になるお話をありがとうございました。今後の課題でお話して下さった送迎のことについて質問です。ボランティアさんに送迎をしていただくことがあったとのことでしたが、何か気を付けたことはありますか？	もともと高齢者、障がいをお持ちの方に対する外出支援活動を主な活動とされていたボランティアグループで、基本的な知識はおありでしたが、もちろん疾患についてやご本人の性格、趣味や嗜好等について事前にお伝えしました。
10	月1回の活動だと、毎日の水遣りはどなたがしているのでしょうか。	前述（4）のとおりです。
11	①ランチとはどんな機能を持つ施設でしょうか？ ②認知症強化型地域包括支援センターとは、大阪市独自のものでしょうか？	①地域包括支援センターと連携し、概ね中学校区に1カ所設置されている総合相談窓口です。 ②はい。区における認知症施策推進の中核機関として、各区に一カ所の認知症初期集中支援事業を実施する地域包括支援センターを、認知症強化型包括支援センターとして設置しています（大阪市HPより抜粋）。
12	地域包括支援センター三職種との連携の好事例があればご教示ください。	メンバーの中には、フォーマルなサービスにつながっていない方もおられ、担当包括の相談員とは機会の度に情報交換をしています。
13	包括の前でお花を育てていますが、治安が悪く、引っこ抜かれてしまうことが度々あります。。プランター農園ぜひやりたいと思いますが、この治安で野菜を包括の前で育てると盗まれてしまう可能性があります。山中さんの地域では、盗まれることは無かったかと思いますが、盗難対策等はされていますか？	今のところ盗難対策はしておりません。ちなみに、野菜は建物の4階にあるベランダで育てていますので、鳥による被害のみで済んでいます。

No	質問	回答
14	推進員です。何か手探りでも活動されていることがすごいと思います。質問です。参加者さん同士で、活動日以外の交流があったり、友人関係に発展したりとかありますか？また、参加費100円はみなさん納得して支払われていますか？	今のところ、個人的な交流に発展しているというお話は聞いていません。参加費については、以前は「食べる」活動にあたり、調味料等の購入が必要だったこともあり、ご納得いただいています。現状はそれがないので少々心苦しいのですが、規定額以上払おうとくださる方もいらっしゃいます。
15	地域食堂と一般のレストラン・食堂との違う点は大きくはどのようなところですか？	子ども食堂は、地域交流の拠点として、また、子どもの貧困対策や共食の機会の提供を目的として、地域の子どもや保護者などを対象に食事を提供するコミュニティです。
16	チームオレンジとの連携や県行政へ期待することがあったら教えてください	認知症地域支援コーディネーターも同じ組織に所属しており、それぞれの立場で活動を支援しています。活動の開始時や継続にあたり、助成金等のしくみの充実を望みます。
17	認知症施策について、行政の推進員と協働で行われているのでしょうか。行政からは全てお任せという形で事業を行ってみえるのでしょうか。	大阪市では「認知症初期集中支援チーム」の配置および「認知症地域支援推進員」の配置について『認知症強化型包括支援センター』が担っており、行政には推進員は配置されていません。認知症施策推進にあたっては、区保健福祉課の担当者を含めた関係機関と連携しながら進めています。